

## インベスコ

### 「ESG投資 スチュワードシップ・レポート 2020」を発行

2020年のESG投資の運用残高は345億米ドル

2023年までに、全ての運用戦略でのESGインテグレーションを目指す

当資料は、インベスコ・リミテッドが2021年4月7日（米国時間）に発表したプレスリリースの日本語抄訳版であり、当資料の内容および解釈については原文（英語）が優先されます。

2021年4月7日（米国・アトランタ）－ 世界有数の資産運用会社である[インベスコ・リミテッド](#)（以下、「インベスコ」）は、本日、「[ESG投資 スチュワードシップ・レポート 2020](#)」を発行いたしました。本レポートは、エンゲージメントの事例、議決権行使へのアプローチ、社会的平等と気候変動への取り組みについて、詳細に説明しています。インベスコでは、2023年までに全ての運用戦略においてESG分析を投資の意思決定プロセスに取り入れるESGインテグレーションを達成することにコミットしています。現在は、運用戦略の約75%でESGインテグレーションを実現しており、2023年までに100%の達成を目指します。

インベスコのESG投資の運用資産残高は、2019年末の210億米ドルから、2020年末時点で345億米ドルに増加しました。また世界各国で、40以上のESG関連の投資商品を提供しています。

インベスコのグローバル・ヘッド・オブ・ESGを務めるキャサリン・デコック・ロペスは次のように述べています。「私たちは不確実性の時代に直面していますが、コーポレート・ガバナンスを重視し、スチュワード・シップ活動に注力するインベスコの姿勢に変わりはありません。私たちはお客さまが直面する課題を解決し、長期的なリスク管理を行いながらもお客さまにとっての新たな収益機会創出を実現すべく努力しています。私たちの全ての活動にESGは取り入れられており、お客さまと共に目標を達成するうえでESGは不可欠なものです」

本レポートでは、以下の3つにフォーカスしてインベスコのESG理念を説明しています。

- **ESG課題（マテリアリティ）**： ESG課題をリスク調整後及び経済的な意味において考慮することを指します。特定の地域における法律に基づく制限に該当する場合は除けば、インベスコはESGを制約とはみなしません。
- **ESGモメンタム**： ESGパフォーマンスが時間と共に改善するという考えは、特に興味深いと考えます。ESGの実践面が改善している企業は、長期的に良好な財務パフォーマンスを上げることができるとインベスコでは考えています。
- **エンゲージメント**： インベスコは、責任ある投資家としての責任を真摯に受け止め、エンゲージメントは企業に対して継続的な改善を促す機会と考えています。投資先企業との対話は、ファンダメンタルズ分析において、投資プロセスの中核をなす部分です。世界有数の運用資産額を有する投資家として、企業経営や企業戦略、経営の透明性、資本配分、さらにはより広範なESGファクターについて、経営陣と対話する機会を活用しています。

また以下の取り組みについても、本レポートに報告されています。

- **議決権行使:** インベスコの「グローバル・コーポレート・ガバナンスおよび議決権行使に関する方針」([グローバル・プロキシ・ポリシー](#))は、投資家としての議決権行使に関する広義の理念と原則を定めています。インベスコは、アクティブ投資家としての責任を真摯に受け止め、議決権行使はインベスコの運用プロセスに不可欠であると考えています。2020年は、世界74市場において、1万399件の株主総会で24万7,465件の決議について議決権を行使しました。投資家の声をより強く企業に届けるため、インベスコのパッシブ戦略においても、アクティブ戦略の運用者の意思決定に沿った議決権行使を行います。その結果、インベスコはアクティブ投資家として投資先企業に対してより大きな影響力を持つこととなります。
- **エンゲージメント:** お客さまの資産を運用し、守りそして成長させる役割を担うインベスコにとって、企業の経営陣とのエンゲージメント、および議決権行使は非常に重要です。将来の企業価値に影響を及ぼす可能性のあるESGの課題について、企業に質問や異議を申し立てることがあります。運用チームは、ESGに関連するものを含む様々な課題について、投資を検討している企業や投資先企業の経営陣とエンゲージメントを行います。2020年に行った、企業とのミーティング件数は、前年度比100%増となる、2,000回以上に及びました。グローバルESGチームのエンゲージメント・ミーティングにおける、上位5テーマの以下の通りです。
  - 気候変動 : 44.25%
  - 役員報酬 : 22.21%
  - ESGに関する情報開示 : 14.16%
  - ダイバーシティ : 12.39%
  - 人権問題 : 8.85%
- **各種イニシアチブへの参加:** インベスコは、複数の外部団体のメンバーやサポーターとしての活動を行っており、業界におけるアドボカシー（発信者）の役割を果たしています。2020年、インベスコは、Climate Action 100+に参加し、Climate Bond Initiative（気候債券イニシアチブ）のパートナー、Transition Pathway Initiative (TPI)のサポーター、One Planet Asset Managers(OPAM)のメンバーになりました。また、Confluence Philosophy Belonging Pledge to Advance Racial Equityに署名しています。
- **気候変動:** インベスコと我々のお客さまにとって、注力すべき重要な分野です。インベスコは気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の正式サポーターとなり、気候変動を考慮した資本配分を行う企業に投資を行うことで、課題解決に貢献しています。2020年、インベスコは、企業運営に関わる気候変動から生じる財務的及び物理的リスクについての開示を要求する株主提案のうち、55%以上に対して賛成する議決権行使を行いました。また、インベスコは気候変動に関する企業による監督やコントロール・メカニズム、メタン排出を含む温室効果ガスの削減についての透明性を高めることも求めています。
- **社会的平等:** インベスコが熱意をもって取り組んでいる、もう一つの重要な分野です。一企業として、インベスコは、Invesco Women's Network、LGBT Network、Black Professional's Networkといったグローバルでの取り組みを行っています。インベスコは、グローバルにおける幹部層の女性の割合を、2022年までに、現在の33%から35%以上にする目標を掲げています。インベスコは、企業におけるダイバーシティの必要性を理解し、全社的に目標達成に向けて尽力しています。

- **ESGintel:** インベスコのグローバルESGチームが、社内のテクノロジーやイノベーション・チームと共同で構築した独自のESGツールです。ESGに関するインサイト、指標、データポイント、変化の方向性を提供するものです。ESGintelは投資先企業におけるESGに関するリスクと機会について、インベスコ独自の見解を提供しています。

インベスコの「ESG投資 スチュワードシップ・レポート 2020」は、以下からご覧いただけます。

<https://www.invesco.com/us-rest/contentdetail?contentId=03ccdd83ce388710VgnVCM1000006e36b50aRCRD&audienceType=Institutional>

以上

### インベスコについて

インベスコは、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家などの顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界25か国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています（証券コード：IVZ）。インベスコに関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)（英語）で入手することができます。

### インベスコ・アセット・マネジメント株式会社について

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社インベスコの日本拠点です。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)で入手することができます。

### その他の留意事項

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が、インベスコが作成した英文資料を抄訳し、情報提供を目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。抄訳には正確を期していますが、必ずしも完全性を当社が保証するものではありません。また、抄訳の場合には、原資料の趣旨を必ずしもすべて反映した内容になっていない場合があります。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、当資料に示す見解は、インベスコの他の運用チームの見解と異なる場合があります。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第306号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

---

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
〒106-6114  
東京都港区六本木六丁目10番1号  
六本木ヒルズ森タワー 14階  
Telephone 03-6447-3000

C2021-04-527